

【中国】各大学ランキングにおける中国の大学の評価

中国（ここでは中国本土。以下同）の大学の研究力は 2000 年代から徐々に向上し、2010 年代には飛躍的な進歩を遂げ、世界のトップクラスに躍進した。論文数では 2010 年代後半に米国を抜いて世界トップとなり、論文の被引用数の目安となる Top10%（Top1%）補正論文数、また国際共著論文数でも世界でトップクラスとなっている¹。

中国の大学の実力が世界的に見てどのように位置づけられるのかを検討する際に参考となるのが、各種大学ランキングとなる。特に THE 世界大学ランキング、QS 世界大学ランキングおよび世界大学学術ランキング（ARWU）がその中でも主要なランキングとなる。本稿ではこれらの大学ランキングの特徴を挙げながら中国の大学の現在の位置づけを確認していきたい。

THE 世界大学ランキング

THE 世界大学ランキングは、英国の高等教育情報誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション（Times Higher Education）」から毎年発表されるものである。評価法およびその配点の比率は、①教育力（学習環境）（29.5%）、②研究環境（29.0%）、③研究の質（30.0%）、④産業（4.0%）、⑤国際性（7.5%）に分けられ、さらに全 17 項目まで細分化される（表 1）、それらの総合点でランキングが決まる²。その評価の特徴としては、他の大学ランキングより教育力、研究環境、アウトプット等の研究の質といった大学本来の社会的役割に重きを置いている点が挙げられる。

表 1 THE 世界大学ランキングの評価法・配点比率

①教育	評判	15.0%	29.5%
	教員 1 人当たりの博士号取得者数	5.5%	
	教員 1 人当たりの学生比率	4.5%	
	教育による収入	2.5%	
	学士号取得者 1 人当たりの博士号取得者比率	2.0%	
②研究環境	評判	18.0%	29.0%
	研究による収入	5.5%	

¹ 中国、また世界的な研究力の趨勢に関しては、以下の資料を参考とした。

文部科学省 科学技術・学術政策研究所科学技術予測・政策基盤調査研究センター『科学技術指標 2024』（2024 年）、文部科学省科学技術・学術政策局『科学技術要覧 令和 5 年版』（2023 年）

² Times Higher Education, “World University Rankings 2025”

<https://www.timeshighereducation.com/student/advice/world-university-rankings-explained>

	研究による生産性	5.5%	
③研究の質	論文の被引用の影響	15.0%	30.0%
	研究力	5.0%	
	研究の卓越性	5.0%	
	研究の影響	5.0%	
④産業	企業からの収入	2.0%	4.0%
	特許	2.0%	
⑤国際性	留学生比率	2.5%	7.5%
	外国人教職員比率	2.5%	
	国際共著論文比率	2.5%	

以下の表は、2024年10月に発表されたTHE世界大学ランキング2025年版から中国の上位25大学を抽出したものである。

表2 THE世界大学ランキング2025における中国の大学上位25校

順位	大学名	総合点	①教育力	②研究環境	③研究の質	④産業収入	⑤国際性
12	清華大学	92.5	95.4	98.4	93.5	100.0	49.8
13	北京大学	92.0	94.9	97.7	88.2	99.9	70.1
36	復旦大学	78.8	78.2	76.2	85.4	99.4	53.8
47	浙江大学	76.2	70.6	76.6	81.8	100.0	61.3
52	上海交通大学	75.8	72.4	79.3	77.5	100.0	56.4
53	中国科学技術大学	75.5	72.3	68.1	90.0	98.8	46.1
65	南京大学	73.0	66.8	65.0	86.3	99.1	61.5
134	武漢大学	63.0	52.8	46.3	90.1	98.2	40.9
146	北京師範大学	62.1	57.5	48.4	79.9	80.7	52.0
152	ハルビン工業大学	61.8	57.3	55.2	74.7	99.9	33.7
154	同濟大学	61.7	51.6	53.3	72.8	99.0	70.1
166	華中科技大学	60.8	46.7	48.4	88.3	99.7	33.0
183	南方科技大学	59.6	36.7	43.3	93.2	80.9	67.1
201-250	北京理工大学	55.8-58.6	45.4	44.0	76.3	98.5	42.4
201-250	南開大学	55.8-58.6	50.0	32.3	86.4	76.0	49.2
201-250	四川大學	55.8-58.6	48.2	49.1	72.8	98.8	44.6
201-250	中山大學	55.8-58.6	47.1	38.1	83.7	93.7	37.1
201-250	天津大學	55.8-58.6	46.8	47.7	73.4	99.6	57.3
201-250	西安交通大学	55.8-58.6	45.6	49.1	74.0	99.9	34.0
251-300	北京航空航天大学	53.7-55.7	44.1	46.3	71.3	99.9	35.8
251-300	華東師範大学	53.7-55.7	43.9	36.0	78.5	87.2	52.8
251-300	西北工業大学	53.7-55.7	37.7	41.9	76.3	99.2	49.1
251-300	華南理工大学	53.7-55.7	36.4	38.0	84.3	99.5	44.6
251-300	南方医科大学	53.7-55.7	45.0	39.0	81.5	71.0	31.0
301-350	湖南大学	51.1-53.6	34.2	32.9	91.7	93.1	32.9

清華大学が最上位の12位（前回12位）となり、北京大学が13位（同14位）と続く。100位以内に入った大学は7校で、北京大学の他に昨年より順位が上がった大学は、復旦大

学（44→36位）、浙江大学（55→47位）、中国科学技術大学（57→53位）、南京大学（73→65位）、武漢大学（164→134位）、北京師範大学（177→146位）、ハルビン工業大学（168→152位）、同済大学（185→154位）、南方科技大学（201-250→183位）であった。ちなみに2025年版における日本の大学の最上位は、東京大学で28位であった。

QS 世界大学ランキング

QS 世界大学ランキングは、英国の大学評価機関クアクアレリ・シモンズ（Quacquarelli Symonds）から毎年発表される。評価法およびその配点の比率は、①学術関係者からの評判（30.0%）、②雇用者からの評判（15.0%）、③学生1人当たりの教員比率（10.0%）、④教員1人当たりの論文被引用数（20.0%）、⑤外国人教員の比率（5.0%）、⑥留学生の比率（5.0%）、⑦国際研究ネットワーク（5.0%）、⑧雇用の成果（5.0%）、⑨サステナビリティ（5.0%）の9項目となっている³。特徴としては評判調査が重視され、評価全体の45%の割合を占めている点が挙げられる。また②雇用者からの評判、⑧雇用の成果といった学生が卒業後、職業的な成功への寄与という社会的な視点も反映されている。

以下は2024年6月に発表された、2025年の同ランキングから中国の上位25大学をピックアップしたものである。

表3 QS世界大学ランキング2025における中国の大学上位25校

順位	前回順位	大学名	学術関係者からの評判		雇用者からの評判		学生1人当たりの教員比率		教員1人当たりの論文被引用数		外国人教員の比率		留学生の比率		国際研究ネットワーク		雇用の成果		サステナビリティ		全体
			点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	点数	順位	
14	17	北京大学	99.5	13	96.6	28	92.6	75	97.7	40	50.3	365	23.6	497	79.8	329	94.2	56	46.9	330=	88.5
20	25	清華大学	99.2	16	97.7	22	95.0	62	99.1	26	18.1	623	13.4	654	79.2	337	92.3	68	40.4	363=	86.5
39	50	復旦大学	85.7	54	87.8	55	79.7	140	80.7	107	88.4	201	35.1	390	67.2	519	64.4	183	82.7	142	80.3
45	51	上海交通大学	84.0	57	86.3	62	58.6	251	99.6	17	23.1	558	19.6	553	73.7	424	73.5	144	80.3	154	77.8
47	44	浙江大学	75.3	79	95.4	32	54.7	277	99.5	19	95.0	149	15.9	608	91.8	138	55.5	224	30.7	440=	77.1
133	137	中国科学技術大学	50.0	162	23.7	402	94.7	63	97.7	38	11.6	701+	5.1	701+	75.7	393	31.9	395	11.9	622	54.1
145	141	南京大学	57.1	135	32.5	290	35.6	443	93.0	63	61.9	317	7.6	701+	67.1	520	29.0	430	16.5	567=	53.0
192	216	同済大学	31.8	276	16.9	508	29.1	533	96.9	44	54.5	345	26.5	457	72.9	442	24.0	473	81.4	147	46.9
194	194	武漢大学	39.2	218	40.5	233	14.0	701+	91.9	69	39.2	423	4.9	701+	78.2	356	46.5	275	22.2	513=	46.7
252	256	ハルビン工業大学	27.1	321	21.1	435	33.7	468	99.8	14	8.0	701+	5.0	701+	68.6	507	28.3	434	14.6	597=	40.3
269	285	天津大学	17.2	527	13.5	597	38.8	407	99.5	18	24.8	538	25.4	473	65.2	554	32.4	392	16.9	563=	38.6
271	272	北京師範大学	33.9	259	10.3	601+	24.2	605	92.6	65	6.6	701+	21.3	524	70.8	471	10.5	701+	19.7	537=	38.5
284	301	南方科技大学	9.3	601+	2.5	601+	89.7	85	98.8	29	37.5	430	1.4	701+	48.3	701+	1.6	701+	31.6	432=	37.3
295	291	西安交通大学	19.0	474	39.4	238	14.0	701+	89.5	77	3.9	701+	3.8	701+	80.5	315	26.4	448	18.2	553=	36.9
300	275	華中科技大学	20.4	431	28.2	337	7.9	701+	99.9	10	5.2	701+	2.7	701+	79.4	335	17.6	606	15.0	592=	36.4
302	340	北京理工大学	23.2	384	24.3	396	43.4	361	82.0	103	5.7	701+	6.7	701+	68.6	505	14.3	681	10.1	661=	35.9
316	360	山東大学	16.6	538	35.5	268	16.7	701+	88.2	81	8.2	701+	3.1	701+	64.1	572	20.7	553	19.7	537=	34.7
331	323	中山大學	31.8	278	28.8	329	46.4	329	49.5	269	2.2	701+	3.6	701+	77.4	370	21.4	536	15.9	581=	33.7
336	355	四川大學	20.4	433	12.3	601+	10.3	701+	98.5	32	7.1	701+	4.9	701+	71.3	463	12.9	701+	11.0	644=	33.3

³ QS TOP Universities “QS World University Rankings 2025: Top global universities”

[https://www.topuniversities.com/world-university-](https://www.topuniversities.com/world-university-rankings?tab=indicators®ion=Asia&countries=cn&sort_by=rank&order_by=asc)

[rankings?tab=indicators®ion=Asia&countries=cn&sort_by=rank&order_by=asc](https://www.topuniversities.com/world-university-rankings?tab=indicators®ion=Asia&countries=cn&sort_by=rank&order_by=asc)

362	392	厦門大学	23.6	372	16.2	526	19.0	701+	72.2	146	5.1	701+	3.1	701+	62.6	594	46.0	277	15.4	585=	31.7
377	384	南開大学	18.5	492	9.8	601+	25.4	584	82.9	101	12.3	701+	2.7	701+	51.1	701+	37.9	340	11.5	632=	31.1
385	392	華南理工大學	12.1	601+	6.6	601+	20.0	673	97.8	36	10.7	701+	4.6	701+	51.3	701+	27.3	439	7.3	701+	30.4
428	454	東南大学	13.5	601+	6.6	601+	20.8	658	82.0	102	14.4	675	3.4	701+	69.2	494	5.0	701+	11.6	629=	27.8
430	436	北京科技大学	11.8	601+	4.2	601+	10.2	701+	99.4	21	3.1	701+	2.8	701+	56.8	668	4.9	701+	3.6	701+	27.7
431	452	中南大学	8.6	601+	4.1	601+	5.5	701+	99.7	15	6.4	701+	4.0	701+	67.5	515	14.1	689	3.9	701+	27.6

QS 世界大学ランキング 2025 では、北京大学が中国の大学で最上位の 14 位で、清華大学が 20 位と続いた。また復旦大学、上海交通大学、浙江大学、中国科学技術大学といった上位校の順位も THE 世界大学ランキングと大きな差は見られない。一方、THE 世界大学ランキングでは世界トップ 100 大学に中国の大学が 7 校ランクインしているが、QS 世界大学ランキングでは 5 校にとどまっている。

また、THE、QS とともにランキングしている南方科技大学は 2009 年に広東省深圳市で創立した比較的新しい大学で、卒業生の相対的に少ないため雇用者の評判や雇用の成果といった点での評価は高くないが、学生 1 人当たりの教員比率、教員 1 人当たりの論文被引用数では非常に高いポイントを獲得し、これらの点において中国の大学の中ではトップクラスである。大学ランキングは伝統校が比較的上位になりやすい傾向にあるが、同校のような新進の大学も着実に順位を上げている点は非常に興味深い。

世界大学学術ランキング (ARWU)

中国の教育研究機関 Shanghai Ranking Consultancy が毎年発表される世界大学学術ランキング (Academic Ranking of World Universities) は、①教育の質、②教員の質、③高被引用著者数、④Nature・Science 掲載論文数、⑤被引用論分数、⑥教員 1 人当たりのパフォーマンスの 6 つの指標から構成される⁴。前述の THE、QS との最大の違いは、評判調査を設定していない点で、客観的な数値を基準としているランキングと言える。一方でノーベル賞・フィールズ賞を受賞した卒業生数 (= 「教育の質」)・教員数 (= 「教員の質」) という独自の評価を設けており、また人文科学の評価があまりなされない点を問題視されることもある。

次の表は、2024 年 8 月に発表された ARWU 2024 年版から中国の上位 25 大学をピックアップしたものである。

⁴ ShanghaiRanking “2024 Academic Ranking of World Universities”
<https://www.shanghairanking.com/rankings/arwu/2024>

表4 世界大学学術ランキング 2024 年版における中国の大学上位 25 校

順位	大学名	総合点	受賞卒業生の数	受賞教員数	高被引用著者数	Nature・Science掲載論文数	被引用論文数	教員1人当たりのパフォーマンス
22	清華大学	43.3	9	0	57.5	47.1	86.2	34.0
24	北京大学	39.9	10.4	0	41.2	44.0	89.2	32.2
27	浙江大学	39.0	0	0	41.2	37.0	99.5	27.0
38	上海交通大学	34.8	0	0	32.5	28.3	95.7	27.4
42	中国科学技術大学	34.1	0	0	41.2	34.2	76.1	31.3
50	復旦大学	33.1	0	0	36.8	31.1	80.5	27.4
72	中山大学	29.4	0	0	27.6	17.8	85.9	25.0
79	華中科技大学	27.8	0	0	26.8	18.7	79.1	23.0
82	南京大学	27.5	0	0	26.8	27.6	66.8	26.6
89	武漢大学	27.0	0	0	29.1	20.5	72.5	20.3
94	中南大学	26.7	0	0	27.6	9.3	81.6	24.5
95	西安交通大学	26.6	0	0	25.2	16.8	77.4	22.0
98	四川大学	26.4	0	0	21.6	15.4	81.0	22.6
101-150	北京理工大学		0	0	36.2	12.7	59.3	22.4
101-150	ハルビン工業大学		0	0	22.5	16.1	74.1	23.9
101-150	吉林大学		0	0	23.5	14.0	65.9	17.0
101-150	西北工業大学		0	0	34.4	12.1	58.5	21.9
101-150	山東大学		0	0	21.6	14.3	74.6	18.8
101-150	華南理工大学		0	0	28.4	10.8	61.7	21.9
101-150	南方科技大学		0	0	26.8	23.1	49.2	35.9
101-150	東南大学		0	0	23.5	9.6	71.6	21.7
101-150	天津大学		0	0	32.5	11.1	67.4	22.0
151-200	北京航空航天大学		0	0	22.5	15.3	57.1	19.1
151-200	北京師範大学		14.7	0	15.9	14.0	57.9	20.1
151-200	重慶大学		0	0	22.5	5.0	62.4	19.4

ARWU でも総合順位は清華大学が1位、北京大学が2位となっている一方、被引用論文数では浙江大学がトップとなっている。

特に新型コロナウイルス感染症の流行を経て、米中のデカップリングも徐々に進展しているここ数年は、中国の大学と海外の大学との共同研究や特に西側諸国から中国の大学への留学生も減少傾向にあり、国際性の評価の上昇は難しい状況にある。中国は論文数、被引用論文数が世界一となった⁵が、世界大学ランキングにおける中国の大学の順位のさらなる上昇は難しい局面を迎えているのかもしれない。

(石川 晶)

⁵ 『科学技術要覧 令和5年版』参照。

【中国】【宇宙】「香山科学会議」月面基地建設計画を議論

2024年12月7日から8日まで開催された香山科学会議の第759回学術シンポジウムで、16名の院士を含む100名余りの科学技術専門家が月面基地の建設方法をめぐって議論を行ったと12月10日付け新華網ニュースサイトが伝えた。香山科学会議は、中国における科学技術の新領域の進展を図ることを目的として1992年に国家科学技術委員会と中国科学院によって創立された中国のトップレベル科学者による議論の場である。

中国工程院院士で北京理工大学の張軍・教授は、中国の月探査プロジェクトや有人月面着陸プロジェクトは米国よりもスタートが遅く、依然として一定の開きがあることを指摘した。そのうえで他国と協力して国際的な月面基地の建設計画を進めることが重要であると述べ、月資源開発の世界的な知識・資源・輸送・建設のプラットフォームの構築を中国がリードするべきと提言した。

中国国家航天局の呉艷華・副局長は、中国が主導する国際月面基地の建設は2つの段階に分けて進める計画で、第1段階は2035年頃の建設を目指すとした。月の南極付近の半径約10キロメートルのエリアに基地群を建設し、半径100キロメートルの範囲内で月面の科学研究活動を行う能力を備えることを目標とする。さらに第2段階として2045年頃までに規模を拡大して中国が主導する国際月面基地を初歩的に完成させる計画が示された。

出所：探索月球基地建设的中国方案

<http://www.news.cn/tech/20241210/fa0871c33a5d47eb98f4e0b0277f5e75/c.html>

【中国】【政策】中国政府、「新時代の西部大開発」を推進

2024年12月11、12日の両日、中国政府の中央経済工作会議が北京で開催された。同会議の中で習近平主席が2025年の経済活動の重点方針を述べた。技術革新を基本として産業革新を進め、主要課題を解決するためにイノベーションに立脚した近代的な産業システムを構築することの重要性が強調された¹。

同会議の中で習主席は「新時代の西部大開発」を推進することの重要性についても述べた。

¹ 中共中央政治局召开会议 审议《进一步推动西部大开发形成新格局的若干政策措施》
https://www.gov.cn/yaowen/liebiao/202408/content_6970134.htm

西部地区は中国全体の経済発展と社会的安定の大局を左右するとし、政府執行部として西部大開発の政策措置の徹底に取り組み、質の高い発展の新たな枠組みの整備を進める方針を強調した。中国の西部地区は重慶直轄市と四川、貴州、雲南、陝西、甘肅、青海の各省、チベット、寧夏回族、新疆ウイグル、内蒙古、広西チワン族の各自治区を含み国土面積の3分の2を占める。

中国政府は1999年に「西部大開発」の発展戦略を提起し、沿海部と比較して経済発展が立ち遅れていた内陸部のインフラを整備し、経済を発展させる国家プロジェクトとして推進してきた経緯がある。2000年から2020年にかけて西部地区のGRP（域内総生産）は1.7兆元から21.3兆元へ増加し、全国に占める割合は18.6%から21.1%へと増加した²。沿海部の経済成長率の鈍化傾向が鮮明となる中、2024年上半期の西部地区のGRPの実質成長率は5.8%で、他の経済圏との比較において京津冀経済圏（北京市・天津市・河北省）、粵港澳大湾区（広東省・香港・マカオ）、長江デルタ地域（上海市、江蘇省、浙江省）の成長率をそれぞれ1.7ポイント、0.6ポイント、0.3ポイントを上回っている³。中国の持続的なGDP成長率の維持のために西部地区の経済発展の重要性が高まっている。

【中国】【原子力】中国の原電、運転中・建設中の総設備容量規模が世界一に

中国国家エネルギー局の最新統計データによると、中国の原子力発電の運転中および建設中の総設備容量規模が現時点で世界一となった。新華網が12月15日付で報じた。

2023年、中国のクリーンエネルギー発電量は約3.1兆キロワット時に達し、そのうち原子力発電は4,300億キロワット時を占め、全体の13%以上に達した。原子力発電は、多様なクリーンエネルギー供給体系の重要な構成要素となっている。

2024年には、江蘇省徐圩（XUYU）など5つのプロジェクトにおいて11基の原子炉の建設が認可された。これにより、中国では運転中および建設が認可された原子炉の合計が102基、総設備容量は1億1,300万キロワットとなる。そのうち、運転中の原子炉設備容量は

² 日中経済協会、西部大開発の現状と日中経済貿易協力の可能性、2022年12月8日
<https://jcpage.jp/jc/index.php?n=351>

³ ジェトロビジネス短信「成都・重慶双城経済圏、2024年上半期のGRP発表」、2024年9月30日
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/09/b1c7284f9f978414.html#:~:text=%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E5%85%A8%E4%BD%93%E3%81%AE%E5%9B%BD%E5%86%85%E7%B7%8F,30.7%EF%BC%85%E3%81%A8%E3%81%AA%E3%81%A3%E3%81%9F%E3%80%82>

5,808 万キロワット、建設中の原子炉設備容量は 5,505 万キロワットで、「原発大国」として世界の地位を確立した。

2025 年には、条件が整った沿岸部の原子力発電プロジェクトの着工を認可し、建設中の原子力発電プロジェクトを着実に推進する計画で、さらに「国和一号」の実証プロジェクトなどを完成させる予定である。2025 年末までに、運転中の原子力発電の設備容量は 6,500 万キロワットに達すると見込まれている。

参考：

<http://www.xinhuanet.com/politics/20241215/1a843df8a1de43598bcd7dd49a70481d/c.html>